

入賞

一般建築物の部

建築主：日本毛織 株式会社
設計：株式会社 竹中工務店
施工：株式会社 竹中工務店
所在地：市川市鬼高1-1-1

～子育て支援環境のさらなる充実を目指す商業施設の挑戦～

ニッケコルトンプラザ ツムグテラス

1920年からこの地で創業してきた日本毛織中山工場の跡地に1988年開業した大型商業施設ニッケコルトンプラザのアネックス棟を建て替え、商業施設および保育園を設置したものである。

近年の保育所不足に対して、さまざまな設置場所が模索されているが、一般に保育施設を併設した場合の賃料収入は併設しない場合よりも下がる傾向にあると言われている。しかし社会全体で子育てを支援する体制づくりは急務である。

当施設は、1階に商業施設、2階に中庭型の保育施設を計画することにより、400㎡にもおよぶ大規模な園庭を確保することに成功している。また、保育士の約半数を英語ネイティブスピーカーとするなど特徴ある運営を行い、子供の送り迎え時の商業施設利用を促進しつつ、新たなライフスタイルの創出に取り組んでいる。

施設デザインは、子供の職業体験を企図したカラフルなエリアが目目をひくが、それを引き立たせるスタイリッシュなデザインが秀逸である。また、子供のスケールにあわせて2階の階高は低く設定されているが、それは、周辺環境への配慮にもつながっている。

青空に開かれた第二の地盤面からどのような子らが育ってゆくのか、楽しみである。

(穎原 澄子)



外観
商業施設内に浮かぶ中庭保育園



中庭
安全性と開放性を両立する2階中庭
(撮影全て/株式会社ナカサアンドパートナーズ 藤井 浩司)

建築主：株式会社パールユニティ
設計：みかんぐみ
施工：西武建工株式会社
所在地：市川市八幡三丁目7番17号

入賞

一般建築物の部

歴史的建築物と共生する商業施設

もとっぼち

moto.8

木造建築の商業施設及びオーナー住居を持つ建物が、駅の近くに有り、入ってみたくなるひととき目立つのが名称「moto.8」である。

総武本線本八幡駅より徒歩にて、5分ぐらいに位置する場所で大通りから一本内側に入った所に有り、木質感を思いっきり表現した建物であった。

テナントは、1階に6店舗、2階に4店舗そして住居からなる建物中央のパーティオ的空間の中に、築80年程の木造母屋が再建築された。この母屋は、「同潤会アパート」等の設計で知られる同潤会メンバーの「柘植 芳雄 氏」の初めての木造住宅設計の可能性が高いものであることが、敷地調査の段階で分かったとのこと。その為、中央にシンボルとしてその母屋を再現し、新しいテナントとして再生することで、この地の文化や記憶を体感することが出来る空間になっている。

この母屋の前面には、コミュニティー広場が配置され、地域の人々の集まるスペース及びイベント会場となり集客にも一役を担っている。

旧宅の庭と樹木もそのまま残したことにより、この地の歴史や文化を感じてくるとも分かる。

都会の中のアオアシス的「moto.8」が、今後も地域住民とのコラボレーションで、長く愛され活用される建物になるであろうと実感した。

(竹江 文章)



旧母屋復元 正面全景

既存家屋を忠実に再現し、下屋、瓦、格子、玄関扉等は部材を再利用している。新設されたテナント部分との隙間に庭が回り込むように見えることで、コミュニティー広場の世界を形成している。



旧母屋復元(茶室部分)

柱、雪見障子、照明、欄間を再利用し、茶室部分を復元している。長押、欄間、開口部納まりを忠実に再現している。

(撮影全て/みかんぐみ)